
2020年3月期 第3四半期 決算説明資料

2020年2月7日
株式会社セブン銀行

目次

決算ダイジェスト 2頁

損益状況 <連結> 3頁

損益状況 <セブン銀行> 4頁

ATMプラットフォーム事業 計数 5頁

決済口座事業 計数 6頁

損益状況 <FCTI> 7頁

米国ATM 計数 8頁

Topics 9-12頁

※決算発表資料は、当社Webサイトからもご覧いただくことができます。
(<https://www.sevenbank.co.jp/ir/library/presentation/>)

連結

経常収益 1,123億円 (前年同期比 +9億円)

持分法投資損失 28億円

経常利益 315億円 (" ▲6億円)

親会社株主に帰属する

四半期純利益 207億円 (" +132億円)

連結

✓ 増収増益

✓ FCTIは経常利益で黒字化

セブン銀行

経常収益 910億円 (前年同期比 ▲0億円)

経常利益 351億円 (" +9億円)

* 関係会社株式評価損 29億円

四半期純利益 222億円 (" +137億円)

セブン銀行

✓ 減収増益

✓ ATM_PF事業での収益は増加も、
前期臨時収益の裏返しにより微減収

7pay廃止に伴う損失 連結：その他経常費用、セブン銀行：特別損失

- **業績予想 (連結・単体) は期初計画より 変更なし**
- **期末配当予想は5.50円 (年間11円) と期初計画より 変更なし**

*関係会社株式評価損につきましては、連結決算上消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

■ 当第3四半期は、前年同期比 **増収増益**

(単位：億円)

	18年度 第3四半期累計	19年度 第3四半期累計	前年差異	19年度 計画
	経常収益	1,114	1,123	9
経常費用	792	807	15	1,092
経常利益	321	315	▲ 6	397
純利益	75	207	132	267

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

1米ドル：2018年度第3四半期 = 109.60円、2019年度第3四半期 = 109.12円、2019年度計画 = 110.00円

注4) 純利益は親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

■ 当第3四半期は、前年同期比 **経常収益は微減も経常利益確保**

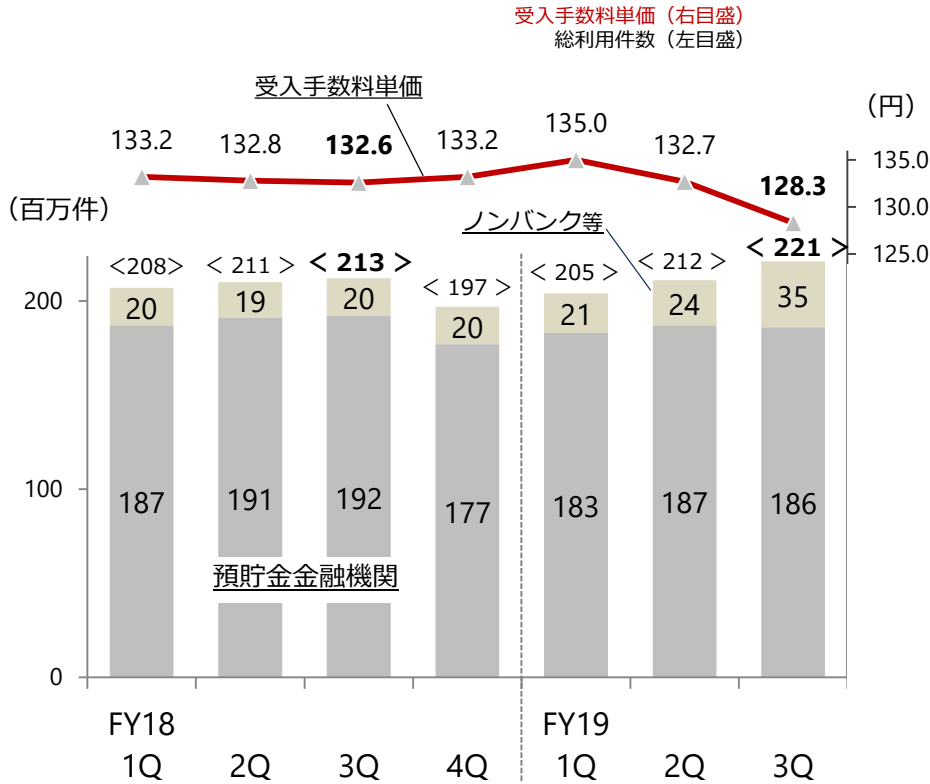
(単位：億円)

	18年度 第3四半期累計	19年度 第3四半期累計	前年差異	19年度 計画
	経常収益	910	910	▲ 0
うちATM受入手数料	821	824	3	1,075
経常費用	568	558	▲ 10	784
経常利益	342	351	9	417
特別損失	218	30	▲ 188	1
純利益	85	222	137	289
EBITDA	463	454	▲ 9	560

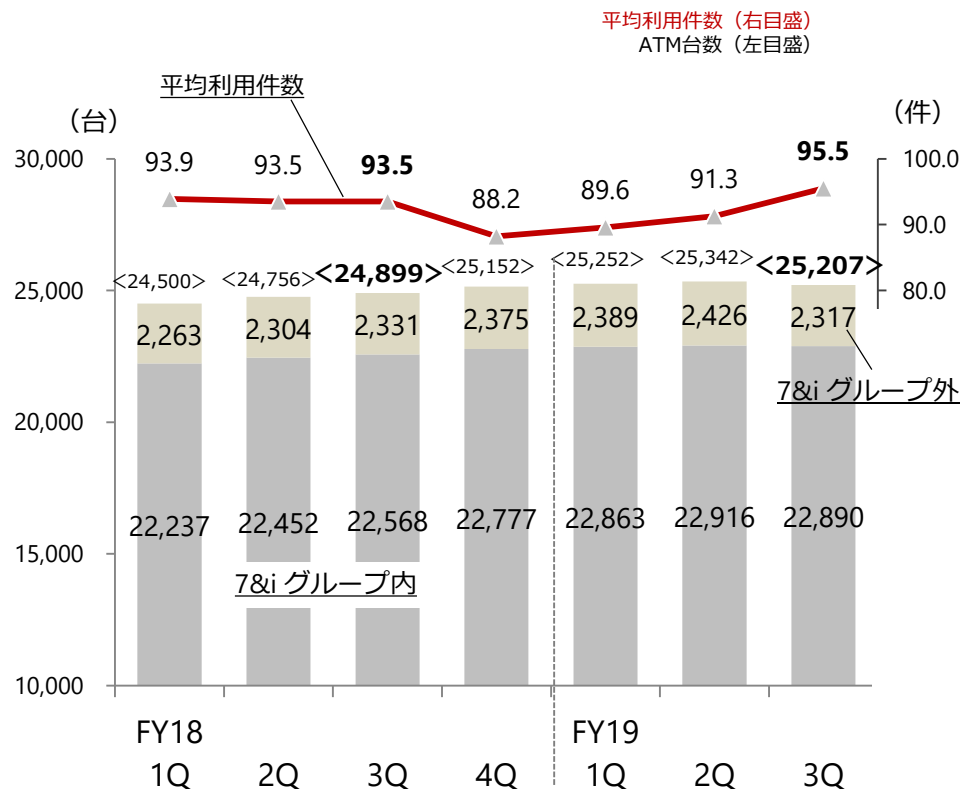
期末ATM設置台数 (台)	24,899	25,207	308	25,502
ATM受入手数料単価 (円)	132.9	131.9	▲ 1.0	134.0
平均利用件数 (件/台/日)	93.6	92.2	▲ 1.4	89.2
総利用件数 (百万件)	632	638	6	822

注) EBITDA = 経常利益 + 減価償却費

ATM利用件数と受入手数料単価の推移



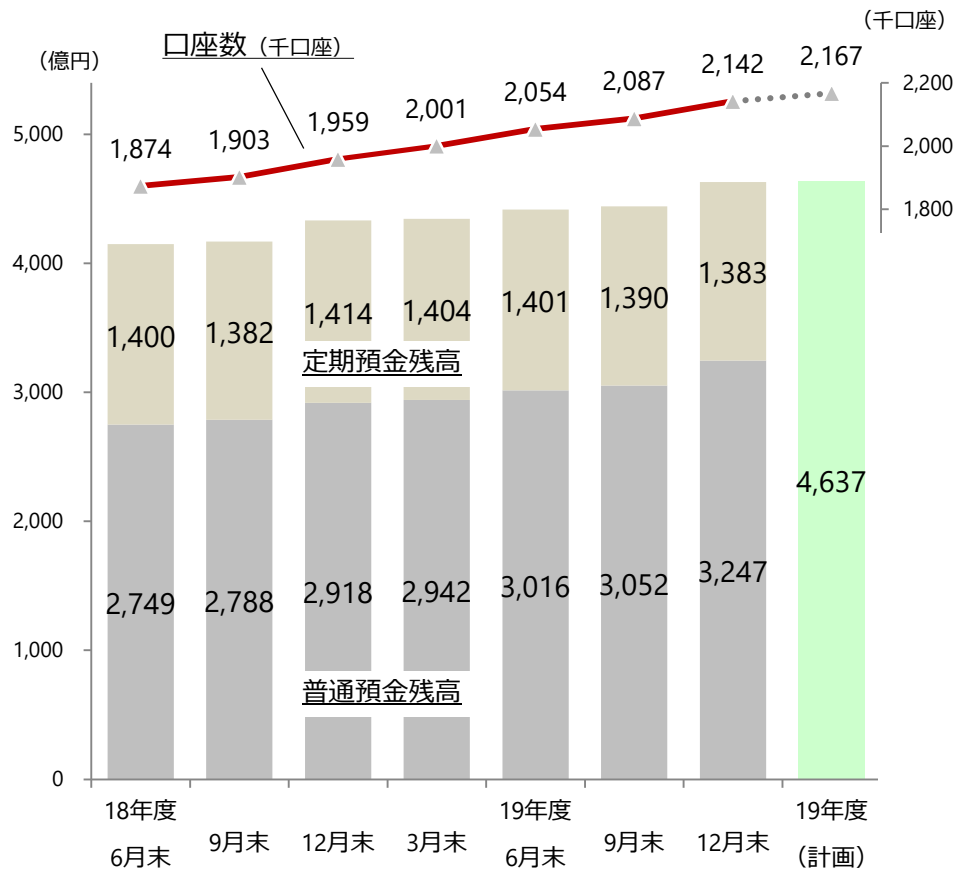
ATM台数と平均利用件数の推移



注1) 総利用件数、平均件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず
 注2) 受入手数料単価は、受入手数料÷(総利用件数-受入手数料収入を伴わない利用件数<売上入金等>)で算出
 注3) 本資料におけるノンバンク等は、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、事業会社等の合計

- 事業会社によるチャージ取引の増加によりATM平均利用件数・総利用件数共に回復
- 受入手数料単価は前年同期間比 ▲4.3円

口座数と預金残高（個人）



個人向けローン

	18年 12月末	19年 12月末	19年度 計画
期末残高 (億円)	225	228	250

海外送金サービス

	18年 4月～12月	19年 4月～12月	19年度 計画
取引件数 (千件)	869	921	1,225

デビットサービス

	18年 4月～12月	19年 4月～12月	19年度 計画
取引件数 (千件)	7,605	10,196	14,462

- 口座数、預金残高は順調に拡大継続
- キャッシュレス・消費者還元事業の登録決済事業者として参画したデビットサービスは、取引件数が順調に増加

■ 当第3四半期は、前年同期比 **増収増益** **黒字達成**

(単位：百万米\$)

	18年度 第3四半期累計 (2018/1-9)	19年度 第3四半期累計 (2019/1-9)	前年差異	19年度 通期計画
経常収益	183.7	192.3	8.6	255.4
経常費用	194.2	190.1	▲4.1	253.8
経常利益	▲10.5	2.2	12.7	1.6
純利益	▲100.5	2.3	102.8	0.8
EBITDA	3.6	7.3	3.7	9.0
期末ATM設置台数 (台)	13,525	11,948	▲1,539	11,770
うちSEI設置台数	8,202	8,424	223	8,311
平均利用件数 (件/台/日)	38.3	42.9	4.6	45.0
うちSEI設置	56.3	55.7	▲0.5	57.2
総利用件数 (千件)	131,180	144,795	13,615	194,000

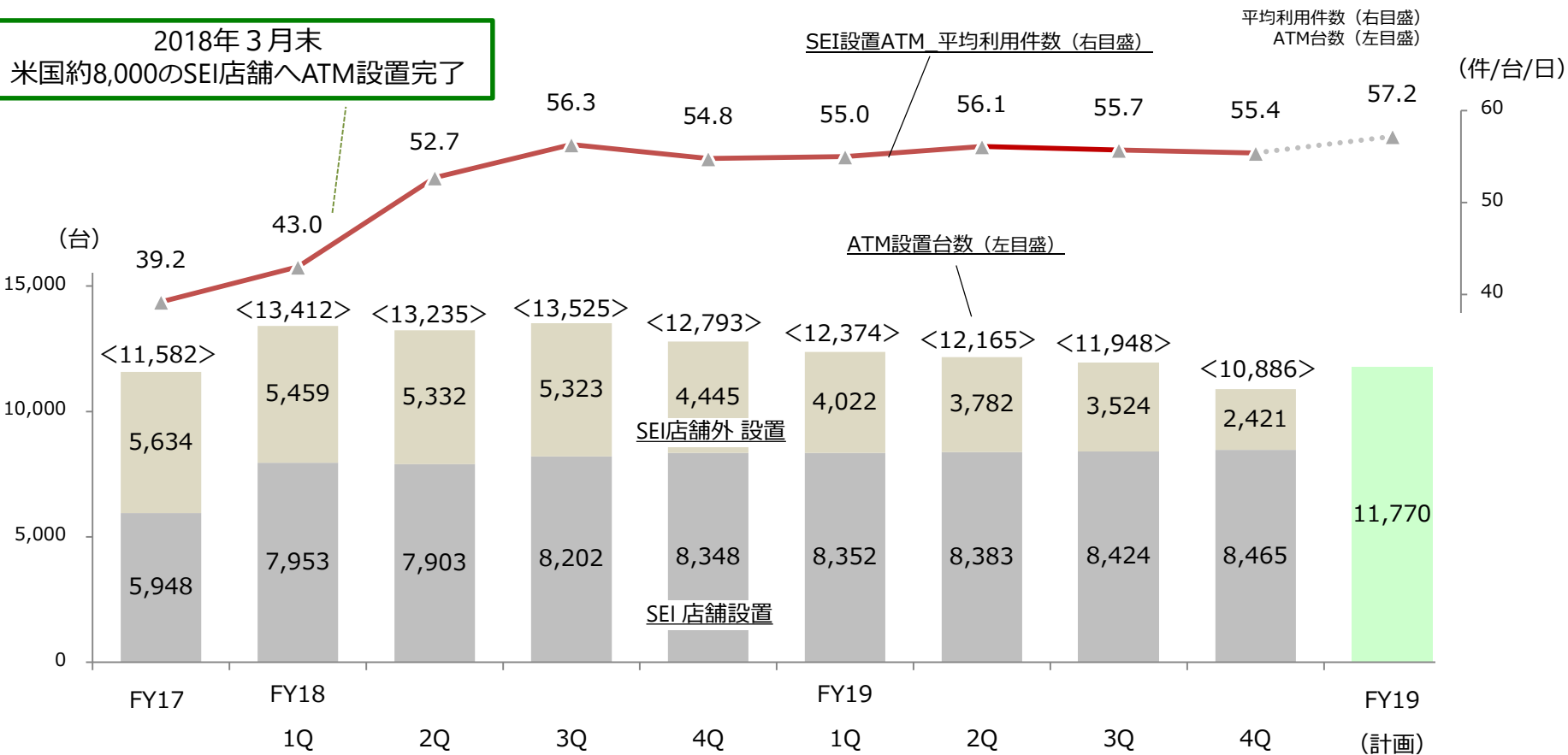
注1) 米国のATM利用件数には残高照会を含む

注2) 2019年12月末時点のATM台数 = 10,886台 (速報値)

SEI内 : 8,465台

SEI外 : 自社保有 2,421台

ATM台数とSEI設置ATM 平均利用件数の推移



- SEI外設置のATMは採算性を精査し、整理を推進
- SEI設置ATMにリソースを集中し、更なる運営効率化を進め収益体質の強化を図る

注1) FY18 2Qより、Sunoco設置ATMを含む

注2) FY19 4Qは速報値

中期経営計画

(2017年度-2019年度)

本業を伸ばしつつ事業の多角化を実現

収益構造に厚みを持たせる

収益・利益の積上げ

長期的成長の基盤作り

施策を堅調に積上げ

① 環境変化に対応したATM利用スタイル

10.11頁

② 第4世代ATMでの新たな価値提供

③ 子会社・関連会社による事業化進捗

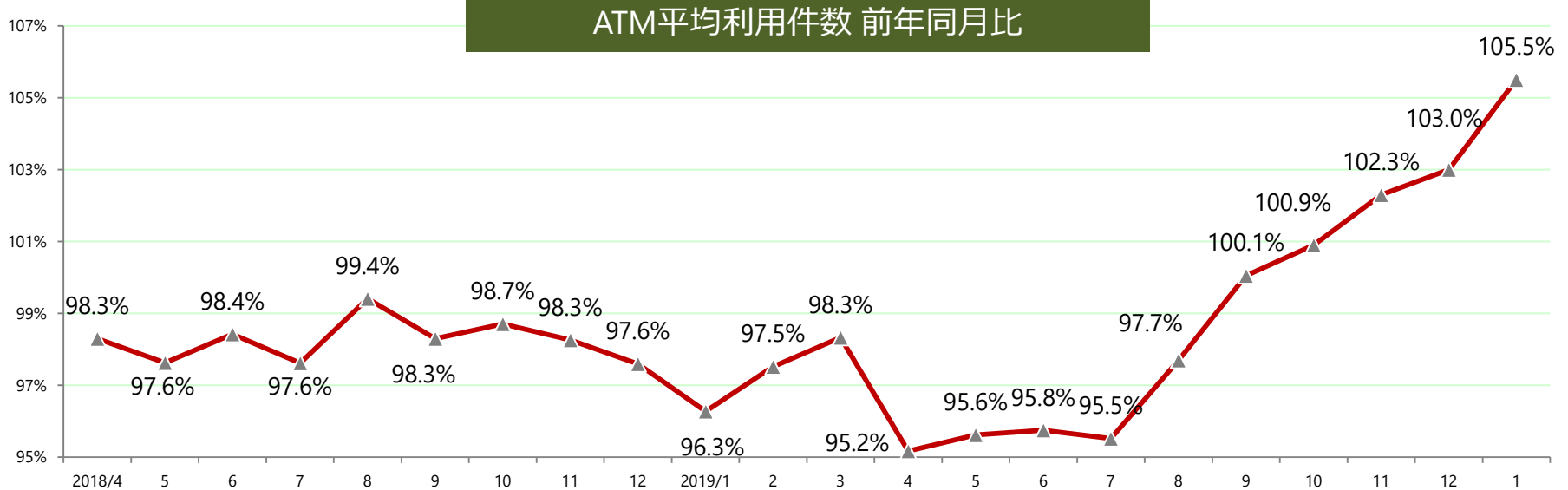
12頁

① 環境変化に対応したATM利用スタイル

決済手段の多様化 (〇〇Pay等)

2019/10-2020/6
キャッシュレス・ポイント還元事業

時代の変化 (キャッシュレス化)
を**機会**と捉える



2019年12月は月平均利用件数100.3件/台/日と3年ぶりの100件超過

デジタルとリアルを繋ぐATMとしての新たな価値提供

利用件数の更なる伸長を目指す

提携先の拡大

新決済事業者との提携

SoftBank Card

LINE Pay

JCBO
PREMO

SMBC
三井住友カード

VANDLECARD

Kyash

d払い

au WALLET
スマートローン

WebMoney

au WALLET

PayPay

pring

ogram

+

Pay

2020/1/28- 新規提携開始

認知度向上施策

合同キャンペーンの実施

セブン銀行ATMから1万円チャージするだけで
抽選で1,000円(相当)プレゼント

キャンペーン対象のスマホ決済サービス

PayPay
au WALLET
LINE Pay
d払い
MelPay

実施時期	2020年2月3日（月）～29日（土） ※27日間
実施エリア	全国
内容 (条件、賞品)	対象のスマホ決済にセブン銀行ATMから1万円/回現金チャージをすると、抽選で合計5万名さまに1,000円(相当)をプレゼント ※1アカウントにつき、1口分の自動エントリー
対象の スマホ決済	セブン銀行ATMでチャージ可能で、セブン-イレブンのレジで決済ができるスマホ決済 (PayPay、au WALLET、LINE Pay、d払い、メルペイ)

③ 子会社・関連会社による事業化進捗

在留外国人向けビジネスの展開



海外送金事業（銀行業）

送金対象国：
世界200ヶ国超

⇒永住者が
メインターゲット

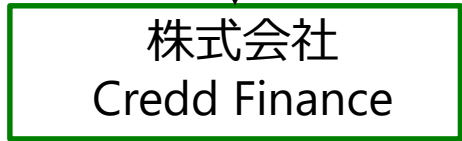
2019年6月設立 100%



海外送金事業（資金移動業）

東南アジアからの
技能実習/特定技能
がメインターゲット

2020年1月設立 60%



与信事業

与信サービスの提供

合併 パートナー	株式会社新生銀行 株式会社アプラス
-------------	----------------------

- 既存与信のノウハウ
- 事務 / オペレーションシステムの提供
- 法人加盟店開拓力（割賦販売店等）

海外送金と与信の複合サービスによる差別化でマーケットシェア拡大へ

本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATMプラットフォーム事業、決済口座事業及び海外事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。



セブン銀行